第 24 回宮崎県理学療法学会　演題募集要項

1．目的

宮崎県理学療法学の発展を主目的とし、日々の臨床や研究の成果を載録する．

2．投稿資格および投稿要項

1）原則として，投稿は日本理学療法士協会・宮崎県理学療法士会の会員に限る．

2）投稿原稿の採否は，査読を経て決定する．

3）演題等の著作権は宮崎県理学療法士会に帰属する．

3．投稿規定

1）人を対象とした研究はヘルシンキ宣言および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（厚生労働省）などの医学研究に関する指針に基づき，対象者の保護には十分留意し書面にて説明と同意を得ること．また動物実験は「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（文部科学省）の主旨に沿ったものとする．研究は所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得て行うことが望ましい．なお本文にはそれらの旨をすべて記載すること．

2）利益相反（COI）が「ある」場合は，必要事項（コンサルタント料，寄付金，特許など）を記載し，「ない」場合もその旨を本文中に記載する事．また，日本理学療法士学会が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守すること．

3）投稿原稿は，パソコンで作成した原稿（Microsoft Word）を CD-R に保存しての投稿とする．

4）原稿の採否は，複数の査読を経て編集委員会で決定し通知する．投稿したものは，原則として返還しない．

5）他の出版物（国の内外を問わず）に発表，あるいは投稿されていないものに限る．

6）数字は算用数字，数量単位は国際単位（SI 単位　例:長さ m，質量 kg, 時間 s など）を用い簡潔に記述する．句点にはピリオド（．），読点にはコンマ（，）を使用する．数字や外国文字は半角文字を使用し，単位記号は原則として外国半角文字の組み合わせとする．また外国文字は活字体を使用する．略語はカッコ内にフルスペルで記載すること．

7）keywords は 3 個添えること．

8）原稿スタイルは，A4 版 1 枚で全角 40 文字×40 行とする．ただし，【タイトル】，【名前】，【所属】，【keywords】に関しては文字数に含めず別紙に記載し，原稿とは別に CD-R に保存し投稿すること．抄録内容は【はじめに，目的】，【方法】，【倫理的配慮，利益相反】，【結果】，【考察】，【理学療法学研究としての意義】の 6 項目で　構成すること．文字数は全角換算（半角英数字は 2 文字を 1 文字に換算）で 1,600 文字以内とする．図表は入れることができない．抄録作成および本学術大会のすべてのセッションにて，訓練は学術用語としては相応しくないとの判断から使用を自粛すること．

9）フォントは，タイトル・名前・所属・keywords・【はじめに】などの項目を**ＭＳゴシック**，本文の日本語表記を **MS 明朝**，英数字表記を **Times New Roman** でサイズを各 **10.5 ポイント**とする．

4．校正

査読の結果及び編集方針に従って加筆，削除並びに一部書き直しを依頼することがある．また，編集の段階で多少の字句を訂正することがある．

5．その他

1）投稿料は，無料とする．

2）発表形式，ならびに発表要項については，採択通知時に連絡する．

6．応募方法・応募先

1）応募時に必要な書類及び記載事項

① 筆頭演者：氏名・所属・経験年数（平成 30 年 4 月 1 日現在）・日本理学療法士協会会員番号・宮崎県理学療法士会会員番号・連絡先住所（郵便番号含む）・電話番号・メールアドレス・FAX 番号の記載文章

②【タイトル】，【名前】，【所属】，【keywords】を記載した文章

③ 演題本文

以上，①～③の 3 点をそれぞれ別に Word にて作成し，同じ CD-R に保存し投稿すること．

②

【タイトル】 第 24 回宮崎県理学療法士学会演題フォーム

【名前】 ○日南太郎[1),2)]，北郷花子（OT）[2)]，南郷勝男（ST）[1)]，串間次郎（MD）[4)]

【所属】 1）●●病院，2）△△大学◇◇学部◇◇学科，3）××病院，4）□□病院

【keywords】 宮崎，日南，未来

③

【はじめに，目的】

【方法】

【倫理的配慮，利益相反】

【結果】

【考察】

【理学療法学研究としての意義】

2）応募先

〒880-0837　宮崎市村角町高尊 2105 番地

一般財団法人弘潤会 野崎東病院　学術誌編纂部担当　落合 錠　宛

7．募集期間

平成 30 年 8 月 6 日（月）～平成 30 年 9 月 28 日（金）当日必着とする．

8．投稿演題審査ならびに演題投稿後の取り消しについて

応募頂いた演題は，宮崎県理学療法士会査読委員会会員が査読基準に沿って審査を行い，学会長が最終決定する．なお，採択された演題の取り消しはできない．

9．演題発表形式ならびに演題募集数

1）演題発表形式：本学会による採択者は，基本的に一般口述発表となる．しかし，採択数によっては，ポスター発表への変更をお願いする場合もある．なお，応募をする際の演題発表形式の指定はできない．

2）演題募集数：33 演題程度

１０．演題採否

演題の採否については，平成 30 年 12 月中に連絡する．

１１．本学会企画

投稿頂いた演題の中から，演題内容，発表の様子など総合的に優れていた 1 演題に宮崎県士会会長賞を，経験年数 5 年未満の方の中から 1 演題にフレッシュマン賞（演題の募集状況により変更の可能性あり）の贈呈を予定している．